



第2回Bio-Symposiumの報告

平成29年7月9日(日)にConvention Room AP新橋虎ノ門にて第2回Bio-Symposiumを開催いたしました。

今回は3名の先生に登壇いただき、バイオ製剤の現状、未来、そして次世代のバイオ製剤として注目を浴びているDNAワクチンの可能性などについてご講演をいただきました。



第1部は「リウマチ性疾患のバイオ製剤の現状と近未来の展望」について、聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center センター長の岡田正人先生に、現在広くリウマチ性疾患に用いられているバイオ製剤の使用方法や使用上の注意、実際の症例などのご講演をいただきました。

第2部は「IL-23-IL-17サイトカインAxisの分子病態について」と題して、本財団の理事長である西岡久寿樹が講演をいたしました。

第3部はTOPICSとして、JCRファーマ株式会社研究本部創薬基盤研究所から基礎探索第2グループ長の藺田啓之先生に「血液脳関門通過技術J-Brain Cargo®を適用したハンター病治療薬の開発」についてご講演をいただきました。



岡田正人 先生



西岡久寿樹 先生



藺田啓之 先生



次回のBio-Symposiumは本財団ホームページにてご案内いたします。

一般財団法人難病治療研究振興財団 事務局

〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-1日土地ビル1階

電話:03-3580-8532 FAX:03-3580-8533 E-mail:info@jmrf-nanbyou.org

URL: <http://www.jmrf-nanbyou.org/>

本紙を許可なく転載することを固くお断りいたします